

シニア団体活動支援事業は、元気な高齢者が地域の活動に参加するきっかけをつくり、高齢者の社会参加と自主的活動を促進し、高齢者の生きがいと健康づくりを目的としております。この広報誌では、年齢を感じさせず、いきいきと活動している本事業登録団体をご紹介します。

福島短歌研究会

活動エリア	県北地区	構成	男性	女性	計
市町村	福島市	年齢	5名	26名	31名
電話番号・FAX メールアドレス等	Tel 024-534-9609 090-9743-1430	構成	50歳代～90歳		
活動内容	短歌制作(定例歌会、吟行会他)	活動日時	毎月第1土曜日 13時～15時頃	年会費6,000円 (月500円)	

〈仲間同士、切磋琢磨〉

昨年で発足40周年を迎えた福島短歌研究会は、原則毎月第1土曜日に福島市内で定例歌会を行っている。70代から80代の会員を中心に、50代から最高齢は90歳まで幅広い年代層の方が参加している。始めたばかりの方や遠方からの参加者も加わり、皆さん和気あいあいと短歌の技術力向上のため切磋琢磨している。定例歌会の他、年に1度吟行会としての県外旅行も楽しんでいる。

〈第500回記念歌会開催を予定〉

会の活動が長く続いたことについて、会長の今野金哉氏は、「活動の主役は会員の皆さん。活動に関する要望には、出来るだけ応えるよう努めている。」と話す。短歌が好き、上手になりたいという仲間同士、結束力も固く、活動が活発である様子をうかがうことができた。

今年11月に第500回を記念して、特別講師を招いて記念歌会を開催予定。記念歌会の準備と短歌制作により一層励んでいくとのこと。入会問合せは、会長まで。



会長の今野金哉氏(67)。「短歌には難しい決まりが無いので、気軽に挑戦してほしい。」と話す。



歌会では、作者を伏せて短歌を発表し、仲間同士論評しあって、最後に作者を公表している。

語句説明

- ※ 歌会…集まって歌を作り、優秀作を選んだり、批評しあったりする会。「うたかい」とも言う。
- ※ 吟行…和歌や俳句を作るために、景色のよい所や名所などに出かけること。

ブラボーミニテニスクラブ

活動エリア	県中地区	構成	男性	女性	計
市町村	須賀川市	年齢	9名	7名	16名
電話番号・FAX メールアドレス等	Tel 0248-75-6067	構成	57歳～83歳 (平均年齢67歳)		
活動内容	ミニテニス	活動日時	毎週月・木曜日 9時～12時頃	年会費6,000円 (上半期毎に3,000円納入)	

〈1年中楽しめるのが特徴〉

ブラボーミニテニスクラブは須賀川市内でミニテニス審判資格取得者養成講座が開催され、クラブメンバーが受講したのがきっかけとなり、平成16年に発足。現在、毎週月・木曜日午前中に須賀川市内の体育館でミニテニスの練習に汗を流している。簡単な練習でゲームが楽しめること、季節や天候に関係なく1年中楽しめるのが特徴。花見や紅葉狩りなどお洒落きでの親睦行事も盛んだ。

〈戦略的プレーも魅力〉

会長の大河内盛弥氏(83)は、「ワンバウンドしたボールを打ち返すが、カラフルなボールの動きは奥深く、無理なく健康増進に取組める。またバックスピンやアングルショットなど、高度なプレー戦略も多彩。老若男女問わず楽しめることが魅力を感じる点。」と話す。このクラブは全国大会にも



ダブルスでプレーするのが基本。男女混合ダブルスを組むことも多い。



メンバーの皆さん。男女比率は男性が若干多い。

語句説明

※ミニテニス…東京都立川市発祥のニュースポーツ。バドミントンコートを使用する屋内競技で専用のラケットとボールを使い、ダブルスを基本とする。サーブ、レシーブともすべてワンバウンドしてからボールを打つなど、ルールが簡単で誰でも気軽に楽しむことができる。

出場経験があり、これからも全国大会を目指して健康維持に努め、クラブの活動を続けていきたいと抱負を伺った。

入会希望は常時受けている。問合せは、右記会長の電話まで。

しらかわ語りの会

活動エリア	県南地区	構成	男性	女性	計
市町村	白河市	内容	0名	22名	22名
電話番号・FAX メールアドレス等	Tel 0248-23-3696 (団体事務局)	年齢	40歳代後半～88歳		
活動内容	昔話、伝説等の伝承活動他	活動日時	不定期(詳細はお問合わせ下さい)		
		会費	年会費2,000円		

〈白河の昔話や民話を後世に伝えたい〉

しらかわ語りの会は平成11年12月に発足、活動開始から15周年の節目を迎えた。少しでも多くの人に地元に残る昔話や伝説などを伝えたいと、白河市内の小学校や幼稚園、児童クラブの他、高齢者学級やイベントなど様々な場所で語りのボランティアを行っている。また毎年「テラプレーションinしらかわ」を主催し、多くの人に語りの楽しさを伝えている。

会の活動は幅広く、紙芝居や手遊び、絵本の読み聞かせやエプロンシアター、手袋人形劇など、語り以外の依頼にも応じている。



10月25日開催の、語りの祭典「テラプレーションinしらかわ」の様子。



季節の行事に合わせ、民話や昔話などの語り部をボランティアで行っている。

〈再話集の発行に向けて編集作業中〉

会では5年後の活動20周年に合わせ、『白河の昔話、伝説再話集(仮称)』の発行を予定。専門的な指導を受けての勉強会で、編集作業に取り組んでいる。会長の鳴島あや子氏は、「白河には、多くの昔話や伝説が残っており、若い世代が知ることで地元への愛着が生まれ、年配の方は懐かしさを覚えます。これからも、地元の歴史や文化を伝える活動を続けていきたい」と抱負を語った。

入会問合せは団体事務局まで。

語句説明

※テラプレーション…Telling(テリング)(語り)とCelebration(セレブレーション)(祝典)をつなぎ合わせた造語。語りの集いを一斉に開催しようという世界的な「語りの心の交流の祭り」のこと。

※再話…これまで語られてきた昔話や伝説の記録を今の子どもたちがわかる言葉で作り直す作業。

豊間そば打ち道場

活動エリア	いわき地区	構成	男性	女性	計
市町村	いわき市	内容	11名	0名	11名
電話番号・FAX メールアドレス等	Tel 0246-26-3002 http://blog.goo.ne.jp/smekou/	年齢	60歳代～70歳代中心		
活動内容	そば打ち、ボランティア活動	活動日時	毎月第2・4木曜日 13時30分～15時頃		
		会費	年会費12,000円 (月1,000円) そば粉代1回8000円		

〈家族や知人に喜ばれる趣味〉

豊間そば打ち道場は、平成13年4月に市民サークルとして発足。現在は毎月第2・4木曜日の午後にいわき市豊間公民館で例会を開催している。そば打ち講師の渡部幸治氏指導の下、黙々とそばを打ち、打ったそばは各自持ち帰る。メンバーからは、「家族に喜んでもらえる」「自分で打ったそばしか食べない」「年越しそばの要望が親戚、近所からもある」など、その楽しさが伺えた。地元中学生へのそば打ち指導や、行事で大人数に振舞うなど、ボランティア活動にも積極的だ。

〈必要な道具は棒と板だけ〉

「そば粉があれば家庭にある道具でもできるので、気軽に挑戦してほしい」と話すのは、会長の村上榮氏。天気や気温、湿度などで微妙に水加減が変わるため苦労することも多いが、おいしいそばを作るため毎回真剣になるそうだ。サークル活動開始から間もなく15年が過ぎるが、これからもそば打ちとボランティア活動を続けていきたいと語る。

入会希望は常時受けている。問合せは、右記会長の電話まで。



会長の村上 榮氏。



ホールで黙々とそば打ち作業に取り組む。この会場に地元中学生を招き、ボランティアでそば打ちを指導することもある。



会長の村上 榮氏。(後列左端)とそば打ち指導者の渡部幸治氏(前列左端)を囲んで、参加者一同。

シニア団体活動支援事業の登録団体を募集しております

—いきいきと活躍するシニアサークル・団体の登録をお待ちしております—

●活動紹介してみませんか？

いきいきと活動している県内のサークルや団体の活動状況を本会ウェブサイトや本チラシでご紹介します。

●対象となるのは？

シニア世代が中心となって活動されているサークル・団体様(年齢構成、活動内容、法人格の有無は問いません)

●参加方法は？

この事業は登録制で、登録は無料です。年度途中からの参加も可能です。登録のご案内やご不明な点がある場合は、本会に直接お問合せ下さい。

●発行元・問合せ先 福島県社会福祉協議会 いきいき長寿課
〒960-8141 福島市渡利字七社宮111番地 福島県総合社会福祉センター3階
TEL (024) 524-2224 FAX (024) 524-2228